

おいしいお米ができますように

仙南小学校の児童が田植え作業を体験

5月28日、仙南小学校の総合的な学習の一環として、5年生48人とその保護者が田植え作業を体験しました。ことしは美郷町都市農村交流推進協議会の会員でもある深沢義一さん(四ツ谷)が提供した田んぼで、手植え作業などが行われました。

この日初めて田植え作業を体験したという児童もいましたが、児童たちからは「緊張したけど田植えは楽しかった」「おいしいお米ができると嬉しい」といった感想が聞かれました。秋には稲刈りや収穫祭が行われるとのことで、深沢さんは作業終了後、児童たちに向けて「苗の成長を楽しみにしててください」と話しました。



六郷商店街の活性化に向けて

六郷小学校の児童がサルビアを植栽

六郷小学校では「六郷商店街の活性化」をテーマにした総合的な学習を行っています。6月3日にはその一環として、空き店舗を改装した複合施設「65テラス」の敷地内で、6年生45人がプランターにサルビアを植栽する取り組みを行いました。

この取り組みは児童たちが自ら発案したもので、「六郷商店街が華やかに盛り上がるように」との願いが込められています。計30本のサルビアが植栽されたプランターは同施設の入り口付近に並べられており、六郷商店街に新たな明るさと彩りが加わりました。



みんなでパークゴルフ!

第8回美郷町後三年合戦雁の里大会

6月8日、美郷町パークゴルフ協会(齊藤新一郎会長)が主催する「第8回美郷町後三年合戦雁の里大会」が、雁の里山本公園パークゴルフ場を会場にして開催されました。

この大会は、後三年合戦の歴史と、それにまつわる美郷町の文化をPRしたいとの思いで7年前から毎年開催されています。当日は美郷町内のほか、大仙市や横手市などからも出場者が集まり、大会は大いに盛り上がりしました。



ラベンダーの剪定作業を実施

JAL地域貢献活動 in MISATO

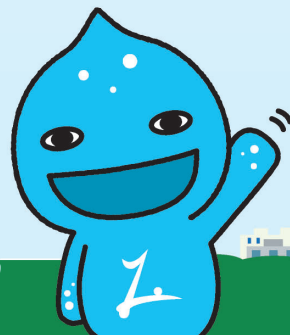
6月12日、美郷町と連携協力協定を締結している日本航空株式会社による「JAL地域貢献活動 in MISATO」が美郷町ラベンダー園で行われ、秋田支店と秋田空港所の職員合わせて17名が来町しました。

今回は連携協力協定に基づき、地域貢献活動の一環としてラベンダーの剪定作業が行われました。当日は強い日差しが降り注ぐ中での作業となりましたが、ラベンダーの栽培管理を行っている株式会社美郷の大地の職員に教わりながら、枯れている枝を丁寧に切り落としました。



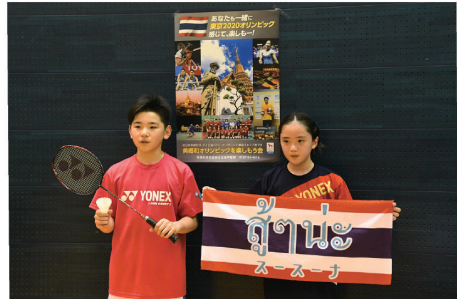
MISATOPICS

町の話



タイ王国へ応援メッセージを届けます!

世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は、タイ王国にも大きな影響を与えています。この危機的状況と一緒に乗り越えよう、という美郷町の想いを届けるため、タイ王国のバドミントンナショナルチームとバドミントン協会に向けた応援メッセージを5月29日に収録しました。



収録では、選手や関係者の皆さんとまたお会いできることを願い、「タイランドスーナー! (タイ王国がんばってください!)」などと呼び掛けました。

TOKYO 2020



新たな習慣

COLUMN
WINDS
コラム

風

美郷町長
松田知己

「朝起きたら顔を洗う。食事の前には仏壇に手を合わせる。朝食の後にはコーヒーを飲む」。特別なことがない限り、ほぼ行う私の習慣です。夜パーションでは、「洗髪後はドライヤーを使わず自然乾燥(なので乾く前に寝れば翌日は岡本太郎です。爆発です)。風呂から上がればすぐ歯磨きをする。暑くてもパジャマは着て寝る」。これも、酔っ払っていない限り行う私の習慣です。

こうした習慣、申すまでもなく幼い頃からの積み重ねなどがあること、考えずに自然に行っていることです。しかし、行為の客観的な良し悪しを置いて考えてみると、繰り返すという事は将来に良い結果も悪い結果も作り得る、ある意味で怖いことだ

なども思います。やはり、将来に悪い結果を望まないとすれば、小さい時から望ましい行為を積み重ねることが大切なのではないかと思うところで。さて、新型コロナウイルス。東京はじめ首都圏との往来自粛が解除されました。ニュース映像では、都内をマスク無しで歩いている人もいて、生活上の制約が少し小さくなって「日常」が近づいてきているようにも見えます。がしかし、それは違います。見えない敵にはこれまでと同様、かなり気を配らなければいけません。しつこいですが、新型コロナウイルスに対する「意識と実践の継続」をお願いしたいと思います。出かける際のマスク着用、出かけた際の手指消毒。正直、暑い時期ですのでマスク着用はつらいです。でも、将来に悪い結果を望まなければ、我慢して実践するしかありません。これを繰り返して、マスク着用も手指消毒も「習慣」として当たり前に実践する日常にしていきましょう。習慣になれば苦痛ではありません。ワクチンや治療薬が出回るまで、油断せずにみなさんで新型コロナウイルス対応の新たな習慣、身に付けていきたいものです。

ここ暫く夜の仕事がなく、家での食事が普通になりました。反面、晩酌が新たな習慣になっています。でもこの習慣、残念ながら打破しなければいけません。ズボンが悲鳴を上げてきていますので…。



アニュラチャ・プラシット・スクールへ届ける応援メッセージの収録に臨む松田町長